

令和3年5月20日から 避難指示で必ず避難 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	 避難指示※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	 高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

予告!

第2回 ものわすれ川柳 やります!

詳しくは、
9月の回覧板をご覧ください!



今年もやります!
第2回 ものわすれ川柳

主催：松山市地域包括支援センター東・拓南
認知症ケア向上事業

編集後記

コロナ禍と自然災害、また長い梅雨が明けたかと思ったら連日の猛暑、皆様の生活が一日も早く当たり前の日常になることを願っております。



そがの福祉だより

発行：素鷲地区社会福祉協議会
事務局：素鷲地区社会福祉協議会

2021
9月号

■ 素鷲地区人口 18,954人
男 8,648人
女 10,306人
■ 65歳以上 5,584人
：高齢化率29.5%
■ 世帯数 11,067世帯
(令和3年7月1日現在)

ご挨拶

素鷲地区社会福祉協議会 会長 今井 晴美

新型コロナウイルスが収まらない中、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。大会の直前に無観客が決定するなど多くの問題を抱えての開催ではございましたが、連日の熱戦に興奮し、テレビの前で応援するなど楽しむことができました。

また、コロナワクチンの接種が進んでおりますが、まだまだ行き渡っていない状況です。これまで同様、感染対策「マスクの着用」、「三密回避」、「手洗い」の徹底を心掛けましょう。そして一日も早くコロナが終息し、以前のように小学校、中学校、地域のすべての行事が再開され、子どもさんから高齢の方まで皆様が安心して、笑顔で参加できる日が来ることを心より願っております。

これからも地域の福祉活動に尽力してまいります。今後とも皆様の変なめご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

= そが福祉のテーマ = 石手川 南に広がる そが福祉

高齢者や障がい者は勿論、全ての人が安心して暮らせる、心豊かな福祉社会の実現に努力してまいります。地区社協は、福祉活動精神をもって「汗だし・知恵だし・笑顔だし」の心で、子どもたち(特に小学生・中学生)から高齢者、および障がい者や独居の方などに対して、幅広く援助活動している地域の福祉組織です。

「全国どこにでもある組織、それが社会福祉協議会です。」



おめでとうございます! 社会福祉関係の受賞者 (敬称略)

令和3年度 松山市民生児童委員協議会会長表彰 《優良民生委員児童委員表彰》

小原 初美 土居 克己 野本 裕子 土居 博子 日野やよい

就任のご挨拶

松山市福音小学校 校長 悦内 誠二



初めまして。今年度、福音小学校の校長として就任してまいりました、悦内誠二と申します。よろしくお願いいたします。

今年度の福音小学校は、95名の1年生を含めて児童数は602名、12名の新しく転任してきた教職員と、様々な場面で児童を見守っていただく支援員さん等を含め教職員数は35名、24学級でスタートしました。

本年度、福音小学校では、「豊かな心を持ち、自ら考え、たくましく実践する児童」を育てていきます。そのための手立てとして「仲良くおもいやりのある子」「自ら学ぶ子」「心と体のたくましい子」の3つを目指す子どもの姿としており、確かな学力の定着を図るとともに、「ともに生きる社会」の基盤づくりに取り組んでまいります。

現在、新型コロナウイルス感染症への対策にも力を入れて取り組んでいます。手洗い・マスクといった基本的な対策を徹底していくことで安全・安心な学校づくりに努めるとともに、引き続き命を守り育てる教育に力を入れてまいります。

昨年度までの成果を生かし、子どもたちを応援して下さるたくさんの方たちのお力をお借りし、その思いを大切にしながら、地域のよさを生かした「ふるさと福音」の教育を推進していきたいと考えています。「笑顔があふれ、みんな大好き福音小」のスローガンのもと、教職員一同、精一杯の努力をしていきますので、更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

素鷲地区社会福祉協議会からのご報告

1. 令和3年度地区社協役員・理事名簿

役 員	公 職 名	氏 名	住 所	
会 長	民生委員会長	今井 晴美	立花5-2-36	
副 会 長	町内連合・共済会長	土居 毅	祇園町2-8	
	会計・統括責任者	瀬良啓一郎	立花6-5-5	
事務局長	民生委員副会長	清家由香里	小坂2-2-40	
理 事	公 職 名	氏 名	公 職 名	氏 名
	東総町内代表理事	宮岡 安幸	民生委員会計	吉岡 稔
	西総町内代表理事	森貞 裕	高齢クラブ連合会長	谷田 慶子
	公民館長	近藤 哲夫	館長補佐	北村 敏子
	まちづくり協議会会長	村井 潔	町内会長	日野 哲也
	サロン統括責任者	久保田千鶴子	民生委員事務局長	山城 喜武
会 計	高齢クラブ会長	星川 泰男		
監 事	町内会長	日野 文夫	地域防災担当	泉 治雄

○地域福祉サービス事業役員名簿

援護部長・運営庶務	民生委員副会長	石丸 良一
啓発部長		林 洋子
会計	民生委員	矢野美千代

2. 令和3年度地区社協代表評議員名簿

公職名	氏名	公職名	氏名	公職名	氏名	公職名	氏名
町内会長	杉野 陽一	町内会長	国枝 繁	民生委員	木原 敬吉	民生委員	水口 清子
	志賀 宣友		渡部 進		中野 博子		福山 忠道
	森田 孝明		山内 経男		東 逸郎		日野やよい
	紀之内 充		谷口 寛		小原 初美		宮本 高男
	川端 正仁		樽本 訓佳		高木のぶ子		東 妙子
	能田 武志		上田 光義	主任児童委員	荻野 順子		露口 春美
	大上 修二		隅田 浩		小田 真一		正岡 恵子

独居高齢者みまもり員さん変更のお知らせ

◎中村1丁目 白石 真智子さん(退任)から 川本 由美香さん(新任)に変わります。

◎立花3丁目 窪田 ミチ子さん、橋 信子さんが退任されました。

よろしくお願いいたします。退任の皆様、長い間ありがとうございました。

第1回 ものわすれ川柳 優秀作品のご紹介

地域包括支援センター東・拓南では、認知症について考えるきっかけとして「ものわすれ川柳」の募集をし、1,428句の応募がありました。応募してくださった皆様、ありがとうございました。

- ◎ ばばちゃん は 同じはなしを くりかえし 素鷲小学校 1年 内海 智晶 さん
- ◎ あれよあれ それで通じる 母と祖母 拓南中学校 1年 梶田 美優 さん
- ◎ おばあちゃん 杖を忘れて 僕が杖 拓南中学校 1年 矢野 直斗 さん

認知症の理解を深める良い機会となりました。

令和3年度 赤い羽根共同募金 ご協力をお願い

素鷲地区共同募金会
会長 土居 毅

令和3年度も10月1日より赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。11月3日 素鷲地区文化祭において共同募金会による募金活動を行います。期間中、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。皆様からの募金は、様々な福祉活動に活用されます。

シトラスリボンで思いやりの輪を広げよう!

シトラスリボンプロジェクトとは…



コロナ禍で生まれた差別・偏見を耳にした愛媛県の有志により令和2年4月に「ちょっとだけでもできること」と発足しました。シトラス色(愛媛県の特産物「柑橘」)を表し、三つの輪は、「家庭」、「学校」、「地域」を表しています。今では全国に広がっています。

リボンをつけることで優しい人の心の輪が広がり、いつかリボンをつけたら良い社会になることを願った活動です。

令和3年3月5日(金)拓南中学校で1年生を対象に甲斐朋香先生による「シトラスリボンプロジェクト」の講演が行われました。生徒たちによる活発な意見交換も行われました。講演の後、愛媛特産の水引きでシトラスリボンを一人3個作成し、よくできたものをメッセージとともに公民館に届けてくれました。



6月16日(水)女性教室でシトラスリボンについての説明を聞いた後、シトラスリボンを作りました。

皆さん作り方が難しいと言いながら、熱心に作っていました。

思いやりの心を広げ安心して暮らせる地域を目指しましょう。

コロナ感染症によるいじめや偏見をなくしていきましょう。



独居高齢者家庭への防災訪問実施

春の全国火災予防運動に合わせて、松山城東消防局員による独居高齢者への防災訪問が行われました。玄関先での対応となりましたが、心配な方は中での点検や火の取り扱い方、機器の説明などがありました。高齢者家庭の火災が増えています。気を付けましょう。



玄関で対応



家の中で説明

サロンの活動風景

ふれあいサロン祇園

祇園2丁目分館
第1・第2(水)13時～16時



コロナ禍のため、10時～11時のミニサロンです。今は、文化祭を目標に大きな大きな作品作りにみんなで頑張っています。完成がとても楽しみです。

安心カードみまもり支援事業のご紹介

高齢者や障がい者等、要支援者の安全・安心を確保するため「みまもり安心カード」をプラスチック容器に入れて冷蔵庫に保管することにより、駆けつけた救急隊員や医師らが、迅速に情報を収集し的確な救命・救急活動を行うものです。



※お問い合わせは、お近くの民生委員まで。